



令和7年度 川口市立戸塚綾瀬小学校だより

【本校HP】⇒  
ご覧ください



# あ や せ

<12月号>

令和7年11月28日

## 全校朝会～校長講話より～

校長 栗原 元一

毎月、第一火曜日の朝は、「全校朝会」です。これは、私が全校児童向けにお話をするのですが、めったに、保護者の皆様に聞いていただく機会がありません。そこで今回、10月・11月に話した内容を紹介いたします。

### 10月「あいさつの大切さ」

朝、皆さんが登校する時に、校門の近くで皆さんに「おはようございます。」とあいさつをしています。

でも、悲しく残念なことがあります。私があいさつをしても、あいさつを返してくれない子、一番悲しいのは私の横をこちらを見ることもせずに、無言で通り過ぎる子がいることです。まるで、無視をされたように感じます。そして、本当に悲しく残念な気持ちになります。

反対に、遠くから大きな声で「おはようございます。」と言ってくれる子、わざわざ、私の近くまで来てあいさつをしてくれる子、一度に何回も「おはようございます」を言ってくれる子、そして、最高に丁寧に素敵なあいさつをしてくれる子（具体的には、立ち止まってお辞儀をしてくれる子）がいます。朝からたいへん嬉しい気持ちになり、やる気がわいてきます。

さて、ここで、「あいさつ」という言葉の意味をみなさんに知ってもらいます。

あいさつは、漢字で書くと、こうなります。（子どもたちに漢字の「挨拶」を見せました。）

- ・あいさつの「挨（あい）」は、・自分の心を開く ・互いに近づく という意味があります。
- ・あいさつの「拶（さつ）」は、・相手に迫る ・近づく という意味があります。

ですからあいさつというのは、「お互いが心を開いて近づく、人間関係づくりの第一歩」と、言われています。今日、あいさつの意味と大切さをお話ししました。

早速、明日から、一人でも多くの子と、あいさつをし合うことができることを願っています。

### 11月「病気の予防」

10月の全校朝会で、「あいさつの大切さ」についてお話をしました。その後、たいへん多くの人と朝のあいさつをし合うことができるようになりました。また、目を見てあいさつをしてくれたり、立ち止まってあいさつしてくれたりするなど、丁寧なあいさつをしてくれています。たいへん素晴らしいです。そして、たいへん嬉しく思っています。しかし残念なことに、一部の人のあいさつができません。恥ずかしいのならば、声に出さなくとも、会釈だけでもよいので、ぜひ、全員とあいさつができることを願っています。

さて、今日は、「病気の予防」というお話をします。

これから冬に向けて、どんどん寒くなっていきます。雨が降らず、空気が乾燥して、のどや鼻が痛くなりやすくなります。また、急な寒さや部屋の中と外との温度差により、体に負担がかかり、調子が悪くなるが多くなります。

11月は、運動会が終わり、本格的に教室での勉強が進みます。病気になってしまい、学校をお休みし、勉強が遅れてしまうことがないように、次の3つのことを行いましょう。

- 1 早寝・・・早めに寝て体をしっかりと休めましょう。
- 2 早起き・・・早起きをすると、学校に来た時刻に、体が絶好調になります。
- 3 朝ごはん・朝ごはんをしっかりと食べると頭の中に血が回り、勉強がどんどんできるようになります。

もう一度言います。「早寝・早起き・朝ごはん」です。

いかがでしたか。このように、その月や季節に合った話、私が感じていることや子供たちへの願いを込めた話などを行っています。全校朝会があった日は、家庭で話題にさせていただけると幸いです。

さて、今年も残すところ1か月となりました。少々早いですが、本年中は、たいへんお世話になりました。どうもありがとうございました。どうぞ皆様、良いお年をお迎えください。

川口市教育大綱（令和3～7年度）

一人ひとりが輝く、

しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる  
川口の教育